

正木幼稚園実施報告書

文責：牧野早也香（名古屋大学 3 年）

連絡先：nabeyaki0901@gmail.com

【実施概要】

日時：2014 年 2 月 25 日（火）10:00～11:30

場所：正木幼稚園（名古屋市中区）

子どもの人数：33 人

対象年齢：年中

学生の人数：21 人（うち聖マリアンナ医科大学 1 人、滋賀医科大学 6 人）

内容：問診（ぬいぐるみを患者に見立てたお医者さんごっこ）、保健教育（手洗い）、待合（紙しばい、絵本、ぬり絵）

【Time Schedule】

～8:45 JR 金山駅集合

8:45～9:00 近くの公園へ移動

9:00～10:00 最終チェック

10:00～10:20 Ice Breaking

10:25～10:40 問診／保健教育／待合①

10:42～10:57 問診／保健教育／待合②

10:59～11:14 問診／保健教育／待合③

11:15～11:30 問診／保健教育／待合④

11:30～13:00 昼ごはん

13:00～ 反省会

【準備】

準備開始日：2 月 13 日（木）

2 月 13 日（木） 第 1 回準備

（問診・保健教育・待合統括決定、アイブレ・待合内容決定）

- 2月16日(日) 第2回準備
(アイブレ・問診練習、待合の準備)
- 2月18日(火) 打ち合わせ
- 2月20日(木) 第3回準備
(カルテの修正、アイブレの準備)
- 2月21日(金) 第4回準備
(当日の持ち物確認、問診の改定)
- 2月24日(月) 第5回準備
(直前リハーサル)

【問診】(ぬいぐるみを患者に見立てたお医者さんごっこ)

○問診で工夫した点

・今回先生方の許可が得られず、ぬいぐるみを子どもたちに持ってきてもらうことができなかった。そのため、学生がぬいぐるみを用意し、ぬいぐるみを患者に見立てたお医者さんごっこを行うことにした。(通常のぬいぐるみ病院では、子どもがぬいぐるみにブースにわかれてから対面することになり、問診を進めることが難しいと判断した)

・また学生の人数が園児に対して少なかったため、子ども：学生=1:1 で問診を行った。

・各ブースに色鉛筆をおいておき、時間があまったときに色塗りができるようにした。

○問診の方法

あらかじめ主訴を考えておき、各ブースに1体ぬいぐるみを用意する。
学生はカルテにそって子どもに質問するようにうながし、質問に学生が答える。
道具はいつも通り子どもに使ってもらう。

○反省点とそれに対する改善点

・通常のぬいぐるみ病院からの変更が直前になってしまい、混乱を招いてしまった。ぬいぐるみが持ってこれないことについて、問題点を早く考えておくべ

きだった。

・ぬいぐるみを患者に見立てると、子どもたちの緊張緩和につながったように感じられた。通常のお医者さんごっこについても、子どもの年齢によってはぬいぐるみを患者にしてみるのもよいかもしれない。

・カルテは今までのものを使用したが、漢字にふりがなをつけたもので年中さんには読むのが難しそうだった。

⇒幼稚園児にはすべてひらがなにすべきだった。

・全体の主訴のバランスを考えることで、レントゲンがこみあうことを防ぐことができた。

【保健教育】

テーマ：手洗い

形式：劇と歌

○テーマを選んだ理由

打ち合わせで先生方の保健教育についての要望がなく、子どもたちの現状についても聞くことができなかつたため、実施時期も考えてイオン実施のためにつくったかぜ予防の劇を手洗いの部分だけ改定して使用することにした。

○使った道具

- ・手洗いの歌を書いた模造紙

○保健教育の内容

手洗いをしない子どもの劇をして、子どもたちによくないところを訂正してもらおう。その後正しい手洗いの方法を歌で覚えてもらう。

劇の台本は OneDrive にあがっているので、参考にしてください。

○工夫した点

・劇は子どもたちが受け身にならないように、子どもたちにつっこみを入れてもらう形式にした。

・歌は身振りをつけながら、子どもたちが動きと一緒に覚えてもらえるようにした。

○反省点とそれに対する改善点

・あらかじめ先生方に子どもたちが知っている歌を聞いておくといいかもしれない（子どもたちは知っていたからよかったが）。

【アイブレ】

○内容

幸せなら手をたたこうをからだを動かしながら歌った。

○反省点とそれに対する改善点

・問診のブース準備を考えて、問診担当の人をアイブレに入れてあげられなかった。

⇒一番アイブレしたいのは問診の人なので、問診の人も一部アイブレにませる。
（学生的人数が多すぎても子どもがこわがるので、うまく調整しながら）

【待合】

○内容

紙しばい（かぜについて）

絵本（病院で働く人たちについて）

ぬり絵

○反省点とそれに対する改善点

・絵本の内容が少し難しすぎたかもしれない。

⇒ちゃんと対象年齢を見て借りてくる。

【全体】

○反省点とそれに対する改善点

- 先生方のご協力をあまり得られず、園児たちの現状把握が難しかった。
⇒もう少し強くアタックして、打ち合わせをもう1回増やしたかった。

- 最初に子どもたちにやることの説明ができればよかった。

実施で使ったカルテや台本は OneDrive にあげてあるので、興味がある方はぜひご覧ください。何か質問や要望などありましたら、牧野までご連絡ください。
nabeyaki0901@gmail.com